

# 医療法人 稲祥会 稲田クリニック



贈呈理由 > 病院の新築にあたり、環境性・省エネ性に優れた業務用ヒートポンプ給湯機を採用



建物外観

クリニックの母体である医療法人稲祥会稲田病院は1959年に稲田産婦人科医院として和歌山県和歌山市に開院し地域の方々とともに歩み、地域に根ざした病院を目標として、家庭的な医療サービスを心がけてきた。そして現在では診療科目も内科・消化器内科・眼科・リハビリテーション科とし、病床数も72床を数え、地域住民の健康と幸せに貢献している。また、予防医学の充実を目指し、健康診断や通院が困難な方のために往診にも力を入れており、同グループの介護老人保健施設かまやま苑と相互の協力体制の下、医療と福祉の連携の新しい形を構築し、地域の方々に快適な医療、福祉サービスを提供している。

## 地域の周産期医療への貢献

そういった中、地域の周産期医療に貢献すべく、医療法人稲祥会稲田病院にて休科中にあった「産科・婦人科」を「稲田クリニック」として、2016

年10月に開院。また開院を機に、稲田病院にて診療していた「小児科」も移転・併設し、妊娠・出産・産後の患者さんやお子さんのケア、そして女性のライフサイクルをトータルでサポートしている。

## オール電化で 安全・安心・経済的

クリニックの建築においては、患者さんやお子さん、医療スタッフにとって「安全・安心」を第1に検討し、熱源システムの選定にあたっては経済性・環境性を考慮した。

給湯には高効率かつ割安な夜間電力



システム外観

を活用した業務用エコキュートを採用し、空調には高効率電気式ヒートポンプ（個別分散）を採用することで省エネ・省コストを図り、厨房には衛生的でかつ快適な電気式厨房機器を採用し、安全・安心・経済的なオール電化クリニックが完成した。

## 一次エネルギー消費量削減効果

### 【採用システム】

業務用ヒートポンプ給湯機 (40kW × 1台)

【従来システム】

LPG 式給湯器 (仮定)



【諸元】実測結果に基づく年間シミュレーション比較

※1 電気 (夜間) 9.28MJ/kWh ※2 LPG 50.8MJ/kg

※1 「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

(平成28年3月1日改正)

※2 「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

(平成28年3月1日改正)

## 医療法人 稲祥会 稲田クリニック

所在地：和歌山県和歌山市和田461

建築設計：清水建設株式会社

建築施工：清水建設株式会社

延床面積：1,665.22㎡

竣工：2016年9月（新設）

URL：http://inadacl.jp/

■蓄熱設備概要

業務用エコキュート 40kW × 1台 [三菱電機]

貯湯槽：2.7㎡ × 2台